

(活動報告書様式)

助成事業実施 団体名	やまがた工芸の会		
実施事業名	山形の伝統文化と工芸技術を守り伝えていく文化振興事業		
助成事業区分	※該当する事業名を○で囲んでください。 協働助成事業(一般型) 【県政課題名： 】 協働助成事業(テーマ希望型) 【テーマ名： 】 団体支援助成事業		
団体の所在 市町村名	長井市	事業費及び 助成額	事業費 1,071,000円 助成額 500,000円



【左下】 開成式：松田県教育次長、池田文翔館長 当会・黒澤洋介顧問和久井修会長

【中央下】 シンポジウム：吉田早苗、佐藤洋詩恵、武田靖子、きくちいま、東海林晴美、古川響子の各氏

■ 事業目的

私たち工芸作家は、山形の風土と生活文化に生まれ時代の感性に磨き上げられながら伝えられてきた技術と材料で、暮らしに必要で、かつ彩を添える“美しいもの”をつくってきました。私たちは、山形に生きることの豊かさを再認識する必要があると考えます。このため、文化財の空間で作品を展示し、用いることで、異次元の世界観に触れる作品と伝統文化の融合を試みる事業を開催しました。感性豊かな高校生と茶道・華道の会を催し、また、文翔館で作品展を開催し発表と鑑賞の機会を提供することで、郷土・山形の先人たち

の美と知恵と技術の継承、次代の新しい創造の展開を図り、文化振興へつなげることを目的に実施しました。

■ 実施内容

- ① 会員による作品展
 実施日：10月21日(金)～30日(日)
 会場：文翔館(山形市)
 出品者：37名(70点)
 来場者：2,000名
- ② 文化講演会「開かれた工芸をめざして」と女性によるシンポジウム「暮らしの中の美」
 実施日：10月29日(土)
 会場：遊学館(山形市)
 講師：秋月康氏(文芸春秋)
 来場者数：約70名
- ③ 高校生による会員作品を使った茶会と華展

実施日：10月22日(土) 23日(日)
 会場：洗心庵(山形市)
 出展校：(茶会)上山明新館、山形学院
 (華展)天童ほか6校
 来場者：200名

■ 事業の成果及び今後の展望

県教委等との協働も形ができたことで事業内容も充実し、より多くの県民に参加いただき、本会と工芸への認知を一層高めることができました。

今年度は賛助会員を募るなど組織強化を図っており、今後も支援を募り事業を継続し、県民の理解を深め伝統と文化の振興の一翼を担いたいと考えています。